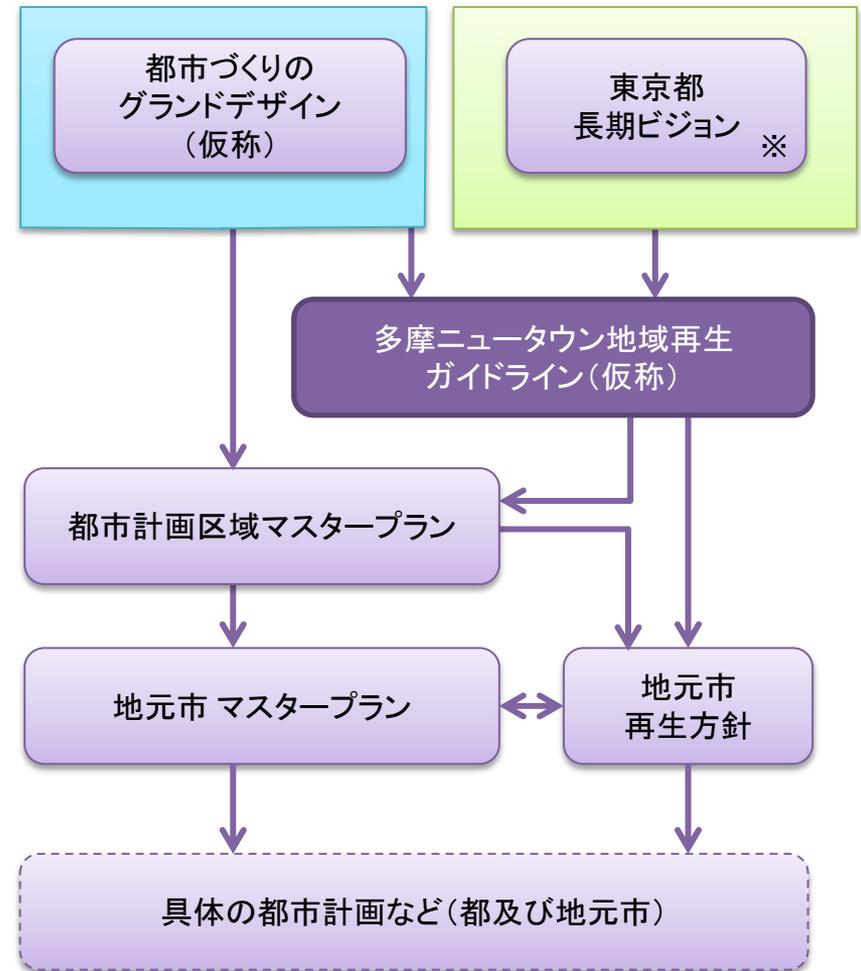


「多摩ニュータウン地域再生ガイドライン（仮称）」【資料2】

策定の目的、位置づけについて

- 多摩ニュータウンは、入居開始から40年以上が経過し、少子高齢化や施設の老朽化などの課題が顕在化している。一方、広域的な観点からみると、リニア中央新幹線の新駅の計画、圏央道の開通など、周辺地域に大きな動きが見られる。
- このような状況を踏まえ、新たな課題等について、学識経験者を交えて検討し、多摩ニュータウン全体の再生に向けた、「多摩ニュータウン地域再生ガイドライン（仮称）」を策定するものである。
- 2040年代の多摩ニュータウンの都市像を明らかにし、初期入居地区の再生をはじめ、多摩ニュータウン地域全体のまちのあり方を示す。
- 地元市が実施する再生に向けた取組を技術支援するとともに、住宅管理者、道路管理者等による再生への方向性を提示することにより、多摩ニュータウン地域の再生を促進していく。



※平成26年12月 策定
平成29年度に「多摩ニュータウン地域再生ガイドライン（仮称）」
策定・公表と記載